



TENMAYA

天満屋倉敷店 2016年12月の画廊予定

◎ 4階美術画廊

会 期	内 容
12/2(金)～12/8(木)	<p>—<small>にわとり</small>鶏を中心に— <small>しろ びぜん</small>白備前 <small>きむら ぎよく しゅう とう ちゅう てる</small>木村玉舟陶鳥展</p> <p>備前細工物の名工16代木村宗得の長男として生まれ、父や彫刻界の巨匠・中村晋也氏、芸術院会員で地元彫刻家である蛭田二郎氏に師事し、細工物に取り組むかたわら江戸中期に突然姿を消した幻の白備前を現代に蘇えらせました。今年はその白備前完成から21年目を迎え、ますます円熟味を増してきた干支の置物を中心に細工の妙を展覧いたします。約70点の出品です。</p>
12/9(金)～12/15(木)	<p><small>さとう たかひろ かいがてん</small>佐藤孝洋 絵画展</p> <p>今年、栄えあるワコー文化賞を受賞された佐藤孝洋先生の天満屋初個展です。佐藤先生は、日展系公募団体の白日会会員であり、岡山県美術展では山陽新聞社賞(一般最高賞)を2度受賞され、現在は県展委嘱という立場で数々のコンクールで受賞を重ねており、今後の更なる活躍が期待される注目作家です。人物、静物、風景などの油彩、ドローイング合わせて20余点を出品いたします。</p>
12/16(金)～12/25(日)	<p><small>かい てん</small>チェネト会展</p> <p>「チェネト」とは古代エジプト語で「光り輝くもの」という意味。古代ガラスのコレクターであった故・羽原明德氏の呼びかけでオリエント美術を愛好するガラス作家、陶芸作家、ジュエリー作家らが画家の故奥田仁氏と倉敷ガラスの小谷眞三氏を中心に1985年に結成した会です。現在は、小谷眞三先生、金重晃介先生、松島巖先生、内山貞和先生、児島塊太郎先生、榎本勝彦先生、矢野太昭先生、森山知己先生ら8人がメンバーとなり、「究極の美」を求めて制作した力作を一堂に展覧いたします。</p>
12/26(月)～12/31(土)	<p><small>はいしゆん しょう かけじく てん</small>迎春用掛軸展</p> <p>旭日、赤富士、鶴亀など新春を彩るおめでたい掛軸を中心に、季節の床の間を飾る四季折々の掛軸を一堂に展示販売いたします。あわせて、色紙、色紙額、風鎮、防虫香などの小物もご用意いたします。</p>

営業時間 午前10時～午後7時30分 ※12月31日(土)は午後6時閉店

いずれも会期最終日は、午後4時に閉場いたします。

※会期・タイトルは都合により変更することがあります。

※出品内容に変更がある場合があります。

お問合せ

天満屋倉敷店 販売計画

TEL 086-426-2205

FAX 086-426-1136